

地域農業の未来を育む

— 持続可能な農業を目指して —

農業を次世代につなぐための大規模整備

市内の農地に水を供給するための農業用水利施設（ダム・頭首工・用排水路など）は、造成から40年以上が経過し、老朽化による突発事故が各所で発生しています。そのため、市では国や県、土地改良区と連携して整備事業を進めています。

国営かんがい排水事業「駅館川地区」と県営農地整備事業の推進

ダムの耐震対策

- ・盛り土による耐震対策

用水施設の機能保全対策

- ・山中部導水路や平坦部幹線用水路の補修
- ・ダムや頭首工の補修



幹線用水路の補修（イメージ）



頭首工の補修（イメージ）

用水施設の機能向上

- ・転落事故、水路破損を防止するためのふた掛けやフェンスの新設・更新

農地の大区画化や汎用化、畑地化

事業による効果

- 将来の営農を見据えた水利用の再編により、農業用水の安定供給を図る。
- ICTの導入と用水管理の高度化により、維持管理の費用と労力を軽減する。

整備を進めるため、農地の所有者や耕作者の方だけでなく、地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。

水需要に対応した用水再編

- ・既設水路のパイプライン化



パイプライン化（イメージ）

用水管理施設の整備

- ・水管理システムの導入（ICT化）
- ・分水門の電動化と遠隔化



水管理システムを活用して電動・遠隔で分水門を操作（イメージ）

問合せ／耕地課 国営事業推進係（☎ 27-8215）

地域農業の将来を考える「地域計画」

地域計画（人・農地プラン）とは、農業の将来を見据え、地域の担い手を中心とした協議をもとに作られる地域の営農計画です。未来の農業を守っていくため、地域が抱えている課題は何か、地域の農地の耕作を誰が担っていくのかを話し合い、その結果をもとに地域計画を策定します。市では、令和6年度末までの策定を目指し、各地域で協議の場を順次開催しています。

協議の場の流れ

地域計画の協議の場では、耕作者ごとに色分けした現況地図を使用します。現況地図は、市農業委員会の農家台帳と市農業再生協議会の水田台帳の情報から作成しています。



現況地図のイメージ

現況地図を囲んで話し合います。地域の営農状況を聞き取りながら、地図に書き込んでいき、地域課題を掘り起こしていきます。



協議の場の様子

主な聞き取り内容

- ・ 農業用水利の水系と利便性
- ・ 作物の種類
- ・ 土質や農地の利用状況
- ・ 農業後継者の有無
- ・ 入作（地域外耕作者）の割合
- ・ 担い手としての課題
- ・ 地域の課題 など



協議の結果から、現況地図や議事録を整理します。話し合いの内容をもとに、市が関係機関と協力しながら地域計画を策定します。

協議の場では、皆さんの積極的な発言がカギとなります。お住まいの地域で開催する際は、積極的な参加をお願いします。

問合せ／農政課 国営事業営農対策係（☎ 27-8241）